

令和6年2月9日
教育委員会資料
生涯学習課

新たな板橋グリーンカレッジの運営について

1 事業移管とこれまでの検討状況

令和4年度より、板橋グリーンカレッジ（以下、グリーンカレッジという）の運営は、あらゆる世代の学びの場を提供することを目的として、長寿社会推進課から教育委員会事務局生涯学習課に事業移管を行った。

この事業移管に伴い、従来の「高齢者の生きがい推進」といった設置目的から、あらゆる世代への学びの提供を行うことのできる「生涯学習・社会教育の実践の場」としての設置目的へと転換を図るため、令和5年度に実施した板橋グリーンカレッジ運営協議会において協議を行い、新たなグリーンカレッジのめざす方向性を定めた。

この設置目的を達成するため、現受講生に配慮を行うための移行期間を設けることとするが、令和6年度を始期として、カリキュラムの再編等を含めた社会教育施設としての機能充実を図り、新たなグリーンカレッジの運営を行っていく。

2 新たなグリーンカレッジの方向性

（1）受講生の多世代化・多属性化へ

シニア世代も含めたあらゆる世代に訴求すべく、履修科目の多様化を推進する。多世代が受講できるような時間帯での講義の実施やICT活用などのインフラ整備にあわせて、デジタルデバイドの解消に向けた取り組みも進めていく。また、世代間交流を推進することで、地域における学びのコミュニティー形成を図っていく。

（2）リベラルアーツの実現

既存の枠組みにとらわれない、領域横断的な知識をインプットするための学びを提供していく。学びを通じて、明確な答えがない課題を解決していくための知識やスキルを習得する。また、物事を多角的に捉え、さまざまな方向から柔軟に考えられる思考を育てていく。

（3）社会的リテラシーの向上

習得した知識をもとに、自分の頭で考え、それを相手にわかりやすく表現をする。理解したことを伝えることで、学びの循環を産む。また、希望者向けの自主研究発表会の場で、グリーンカレッジで学んだ内容をアウトプットする機会を増やしていく。

(4) 地域で活躍できる人材の創出

これまでの経験とグリーンカレッジで培った知識を人のために活かせる人材の創出を図る。グリーンカレッジ受講生から、区の産業振興を支援できる人材や若年層への教育支援のための人材の輩出をめざす。

(5) 誰一人取り残さない学びたい人の機会確保

定員の確保とWeb等の活用により、学習を希望する人をすべて受け入れることのできる体制を整え、学びの機会損失を減らしていく。また、自主活動や自主学習を望む方々については、場や環境を提供することで、主体的な学びについて支援を進めていく。

3 新たなグリーンカレッジの方向性の実現に向けた変更点

(1) 科目のジャンルにとらわれない教養講座の実施

これまで、1年次では2年進学時の専門課程3コース（文化文学・社会生活・健康福祉）につながる教養科目を順番に受講する形態であった。

令和6年度の新1年生からは、あらゆるジャンルの教養科目の中から自らの希望で選択する履修制を導入する。当制度導入により、受講生の「自ら考えて学習をする＝自主性」を醸成し、リベラルアーツの実現を図る。

(2) 年齢制限の撤廃と講義実施時間帯の拡充

60歳以上という年齢制限を撤廃し、講義実施時間帯についても、平日に土日を加える。将来的には、Web講義を実現し、時間・場所に制約されない講義受講形態の確立をめざす。

(3) 受講希望者の受講機会の最大化

コロナ禍以降、抑えていた定員を見直し、学びの機会の拡充を図る。

1年生 160名⇒300名（140名増）

2年生 240名⇒360名（120名増）※令和7年度から400名へ

(4) 2年生の受講内容を、専門性を高める内容に変更

1年次は教養科目を1コマ1回完結の入門期と位置付ける。2年次は、1年次の教養科目を1コマ3回完結の基礎期と位置付ける。これにより、1年次に学習した科目をより掘り下げて、深く学習ができる内容とする。

(5) 板橋区独自の科目の導入

「板橋学（歴史・地理など）に区分できるもの」「区の施設を活用するもの」「区の職員が講師を担当するもの」のいずれかに該当する科目を導入する。

例) 植村直己ーその人と冒険（植村冒険館学芸員）

板橋の歴史シリーズ「加賀学」（郷土資料館・生涯学習課文化財係）

太陽と月と地球～日蝕・月蝕とは？（教育科学館）

櫻井徳太郎と民俗学（生涯学習課文化財係職員）

4 グリーンカレッジ大学院

グリーンカレッジ大学院は、文化文学・社会生活・健康福祉の3分野各30名定員で運営をしている。しかしながら、グリーンカレッジとは異なり、定員割れをしている状況である。そこで、令和8年度に向けて、次の項目について検討している。

(1) きめ細かな指導環境の構築

定員を30名から20名へと変更し、よりきめ細かな指導環境を構築する。

(2) コースの再編成

既存の「文化」「福祉と生活」「社会科学」の3分野に加え、新たに区の政策について研究をする「公共政策」コースを設置する。

(3) 個人研究による深い学びへのシフト

より個人の能力を活かすため、グループワークから個人学習へシフトすることにより、個人の研究テーマに対する深い理解、プレゼンテーション能力の向上をはかる。

5 今後のスケジュール

○令和6年1月20日から令和6年2月16日まで

令和6年度板橋グリーンカレッジ受講生募集

○令和6年3月22日

令和6年第1回区議会定例会議決 シニア学習プラザ条例改正

○令和6年3月27日

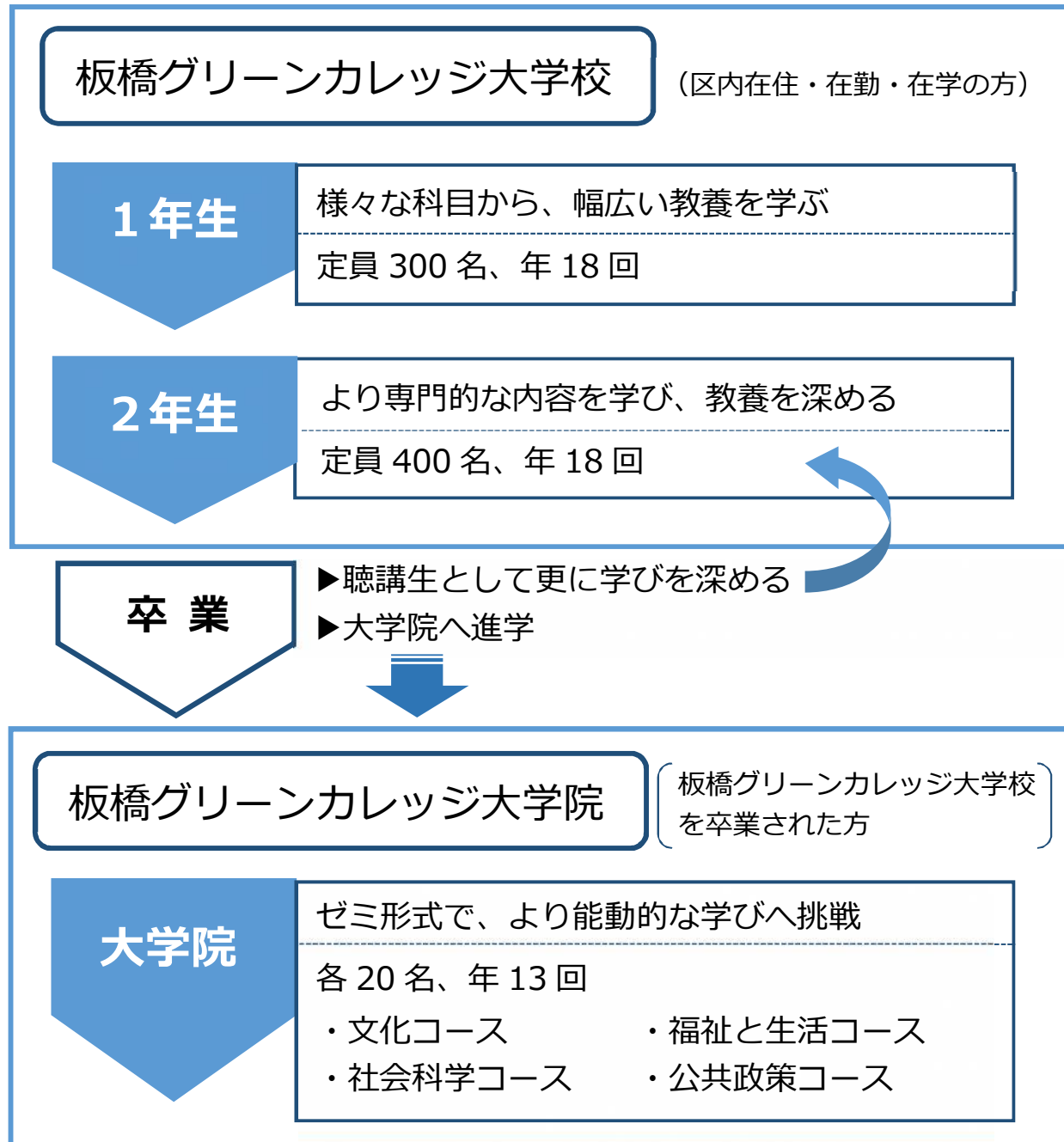
シニア学習プラザ条例施行規則改正案を教育委員会付議

6 参考資料等

別紙のとおり

板橋グリーンカレッジ体系図

1



【板橋グリーンカレッジ大学校 1 年生】

- ・幅広い科目から、2 年生履修の前提となる基礎知識を学びます。
- ・受講したい講座と日程を選択し、ご自身でカリキュラムを作成します。(23 講座から 18 講座選択できます)

【板橋グリーンカレッジ大学校 2 年生】

- ・1 年目の科目について、より専門的な内容の講座を学びます。各講座とも 1 つのテーマについて、連続した講義を受講します。
- ・1 年目同様にご自身でカリキュラムを作成します。(18 講座から 6 講座選択できます)

【板橋グリーンカレッジ大学院】

- ・1 年制 (13 回) のゼミ形式の講座です。
- ・前半は、後期で実施する個人研究を進める上で前提となる導入講義を行い、後半は個人で研究テーマを設定し研究を進めます。最終回には、研究発表会で学びの成果を報告します。
- ・1 年間の学びの集大成として、卒業研究レポート集を作成します。

新たな板橋グリーンカレッジの移行スケジュール（予定）

2

令和5年度まで

令和6年度

令和7年度

令和8年度以降

教養課程（1年目）

※定員160名

仲間づくりや地域活動、生涯学習を促進する多様なテーマについて幅広く学ぶ
2コース（午前・午後）

進学

専門課程（2年目）

※定員240名

より専門的な知識の習得を図るために専門分野を選択し、教養を深める
3コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

進学

大学院（3年目）

※定員90名

ゼミ形式で、より能動的な学びへ挑戦する
3コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

大学校1年生（1年目）新

※定員300名

幅広いテーマの講座を提供し、受講生自ら受けたい講座のみを選択する

<例>

板橋学、社会学、文学、歴史、天文学、美術、経済、心理学、政治、福祉、哲学、情報など

専門課程（2年目）

※定員360名

令和5年度教養課程からの進学者がいるため、従来の専門課程を実施

進学

大学院（3年目）

※定員90名

令和5年度専門課程の卒業生がいるため、従来の大学院を実施

大学校1年生（1年目）新

※定員300名

新体制のカリキュラムを実施

大学校2年生（2年目）新

※定員400名

1年目の科目について、より専門的な内容の講座を提供する。受講生は1年目同様に、自身で時間割を組む。

大学院（3年目）

※定員90名

令和6年度専門課程の卒業生がいるため、従来の大学院を実施

大学校1年生（1年目）新

※定員300名

新体制のカリキュラムを実施

大学校2年生（2年目）新

※定員400名

新体制のカリキュラムを実施

大学院（3年目）

※定員80名

既存の3コースに加え、1コース新設する。定員を20名と少人数に絞り、個人研究センターとしたカリキュラムとする。

新

板橋グリーンカレッジ大学校

1年生（23科目から18科目を選択）各講座1回
①ルネサンスと西洋美術 ②平安時代の文学～源氏物語と時代背景～ ③外国文学の翻訳文化の流入へ ④日本と海外における絵本の起源とは？
⑤武家社会から見る中世日本史～室町・鎌倉時代～ ⑥生と死と愛について考える～哲学入門～ ⑦観光から考えるまちの政策と未来 ⑧櫻井徳太郎と民俗学（文化財係） ⑨植村直己の生きた軌跡
⑩食事と運動と睡眠がからだをつくる ⑪全世代型フレイル いつでも誰でも始められるアンチエイジング ⑫ストレスと心理学 発想転換の手法
⑬国民負担率と社会福祉制度～日本と海外の比較～ ⑭生活と著作権法 ⑮まちづくりと建築
⑯食料自給率から考える日本の農業の未来 ⑰武蔵野台地から学ぶ～地図記号を覚えよう～ ⑱渋沢栄一が築いた日本の金融経済の軌跡
⑲太陽と月と地球～日蝕・月蝕とは？～（区立教育科学館） ⑳トレーニングとデータ解析（植村記念加賀スポーツセンター） ㉑くらしとプログラミング入門 ㉒メディアの変遷とコミュニケーション ㉓確率論と期待値について

2年生（18科目から6科目を選択）各講座全3回
A 文学・芸術 ①近代の西洋美術と美術館の楽しみ方（板橋区立美術館） ②明治の文豪から学ぶ（樋口一葉、尾崎紅葉など） ③大人も楽しむ絵本学（板橋区立中央図書館）
B 歴史・文化 ④室町・鎌倉時代の武家社会と寺社仏閣 ⑤西洋哲学者から学ぶ思想と現代社会 ⑥板橋の歴史シリーズ「加賀学」（板橋区立郷土資料館・文化財係）
C 健康 ⑦快適な睡眠に必要なこと～寝具とライフスタイルから～ ⑧筋肉と血液の関係～食事と運動がつくる体組織～ ⑨ストレスの起源と社会様相の変化
D 地域と暮らし ⑩日本の社会保障（福祉・介護など）（福祉部） ⑪電子商取引で覚えておくべき法（著作権法・民法など） ⑫暮らしやすいが叶うまちづくり（高島平まちづくり推進課）
E 社会 ⑬日本の農業の未来と板橋の農業政策（赤塚支所都市農業係） ⑭誰もが住みやすいまちづくり ⑮日本経済と国際情勢～為替の仕組み・円高・円安～
F 情報・科学 ⑯最新の宇宙科学と宇宙工学 ⑰くらしとプログラミング応用 ⑱くらしとしごとを活かすDX（IT推進課DX推進・戦略係）

板橋グリーンカレッジ大学院

4コースから1コース選択
●文化コース ・地域資料や文化財から見る板橋区のあゆみ 文化の普及・啓発活動（観光ボランティアなど）
●福祉と生活コース ・地域のつながりと福祉 地域づくりの支援者として活躍
●社会科学コース ・情報技術とこれからの社会 地域のDXの推進、グリーンカレッジ等の講師として活躍
●公共政策コース ・区の政策について 区政の支援者（区民公募委員など）として活躍

板橋グリーンカレッジオープンキャンパス

- ・くらしの簡単キレイ ホームケア（全世代向け・花王）
- ・親子で楽しむ動物園（板橋こども動物園・人数限定）
- ・流行ブランドと女性のファッション史

- ・イメージチェンジを！メイクの力（資生堂美容技術専門学校）
- ・植物園で学ぶ生物学（板橋区立熱帯環境植物館・人数限定）
- ・ファッションとカラーコーディネート

※網掛けは、「板橋学」に区分できるもの」「区の施設を活用するもの」「区の職員が講師を担当するもの」のいずれかに該当するものを示します。